

八王子主任介護支援専門員連絡会
平成 30 年度 第 2 回 全体会

平成 31 年 3 月 26 日火曜日
八王子市 職員会館

チーム S・K・N

平成30年度 活動報告

SKNミーティング

新浅川園 会議室にて

第1回 平成30年4月20日

第2回 平成30年6月26日

第3回 平成30年7月20日

第4回 平成30年8月15日

第5回 平成30年9月12日

第6回 平成30年10月19日

第7回 平成30年11月20日

第8回 平成31年1月18日

SKN主催研修 第1回 「利用者・家族への対応方法について」

- 日 時 平成30年9月18日 14時～15時半
場 所 新浅川園会議室
参加者 左入、川口、中野圏域のケアマネジャー 37名（16事業所）
内 容 事例から共に考える
- ①サービスが発生しないケースにどう対処しているか？
 - ②本人、家族の対応で悩んでいることはないか？
 - ①、②それぞれを主マネが役者になり、寸劇をおこなう。

アンケート結果 （回答率67.6%）

- ①寸劇を通しての事例紹介について
- ・ あるある事例で他のCMの気持ちに同感できた。
 - ・ リアルな寸劇で身につまされる思いでした。
 - ・ 楽しいので寸劇今後もお願いします。
 - ・ 寸劇②の長男さんが良かった。
 - ・ 長男怖すぎ。

アンケート結果 （回答率67.6%）

②グループでの意見交換について

- ・他のケアマネさんも悩んでいるんだとわかりホッとした。
- ・他の方の困り事、自分の困り事も話せて良かった。
- ・とても楽しく意見交換ができ、参考になりました。

アンケート結果 （回答率67.6%）

③今後やってもらいたい企画

- | | |
|--------------------|-----|
| ・ 実地指導に関して | 12名 |
| ・ インフォーマルサービスについて | 11名 |
| ・ ケアマネ同士の交流会・意見交換会 | 9名 |
| ・ 事例検討 | 8名 |
| ・ 専門職を招いての勉強会 | 8名 |
| ・ サービス事業所との交流会 | 5名 |

SKN主催研修 第2回 「法改正後の運営基準のポイントと実地指導について」

日 時	平成31年3月22日 14時～16時
場 所	新浅川園会議室
参加者	左入、川口、中野圏域の居宅管理者 20名（20事業所）
内 容	・改正後の運営基準の内容確認と意見交換 ・実地指導に関する報告と質疑応答 ・その他 日々の業務に関する意見交換

チームS・K・Nの今後の方向性...

「ALL 八王子・みんなで！！」 ～SUN STREET3ヶ年計画～

八王子主任介護支援専門員連絡会
めじろ・寺田・片倉・高尾圏域エリア会

SUN STREETコンセプト

①すべての取組の目的はエリア全体のケアマネジメントの質の向上・底上げ。またケアマネジャーの社会的地位の向上・人材の確保・人材の定着を目指す。

②現在、それぞれの機関の役割・機能、課せられている責務・取組を線で結び、協働して行い、効率化と充実を図る。

居宅

包括

行政

利用者

③保険者・居宅・包括の垣根を越えて「顔のみえる関係」から「腹のみえる関係」を目指す。それぞれの機関による日常的な相談体制の構築

④一つの取組で八王子主任介護支援専門員連絡会のビジョン、包括的・継続的ケアマネジメント支援、主任介護支援専門員の推薦要件、特定事業所の要件等参加した誰もが実績として複数の要素を含んだものとする。

居宅サービス計画書(1)

作成年月日 H30 年 3 月 25 日

初回・紹介・継続

認定済・申請中

利用者名 サンストリート圏域のケアマネ 様 生年月日 年 月 日生 住所

居宅サービス計画作成者氏名 サンストリート

居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地

居宅サービス計画作成(変更)日 30 年 3 月 25 日 初回居宅サービス計画作成日 30 年 3 月 25 日

認定日 年 月 日 認定の有効期間 H30 年 4 月 1 日 ~ H33 年 3 月 31 日

要介護状態区分 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

利用者及び家族の生活に対する意向 サンストリート圏域のケアマネ:自分のため、誰かのため、そして地域に向けてみんなで取り組みたい。

介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定

総合的な援助の方針 ①主任ケアマネ個々の力量を上げ、誇りを持って活躍できる場を作り上げます。
②サンストリート圏域のケアマネ全体の後方支援をします。
③八王子市と協力して主任ケアマネとしての役割を果たします。
上記の取組にあたっては保険者、包括、及び各関係機関と連携しながら進めてまいります。

生活援助中心型の算定理由 1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他()

居宅サービス計画について説明を受けました。この計画の実施に同意します 平成 年 月 日 署名 印

居宅サービス計画書(2)

作成年月日 H 31 年 3 月 26 日

利用者名 サンストリート圏域のケアマネ 各位

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	目標				援助内容			
	長期目標	(期間)	短期目標	(期間)	サービス内容	サービス種別	頻度	モニタリング
専門性と価値を高め、誇りを持って仕事を続けたい。	健全な事業運営の継続、職員の定着、地域に根ざしたケアマネジメントが展開され利用者の満足が向上すること。	3年	関係機関等との多職種のネットワーク構築	1年	①多職種が参加する研修・交流会の開催 ②研修・交流会の参加 ③サンストリートの活動の周知	①包括・サンストリート ②各ケアマネ ③サンストリート	①各圏域・サンストリート圏域全体で年1回以上 ②随時 ③随時	各関係機関や圏域内におけるサンストリートの活動の周知。また、各居宅及び各ケアマネから意見を聴取。意見聴取した内容に基づき各圏域でケアマネ研修・交流会を実施。圏域全体でも合同研修会を実施。
			各居宅事業所相互の相談体制の構築	1年	④地域づくりへの参画 ⑤ケース相談会の開催 ⑥日常的な相談体制の構築	④サンストリート ⑤包括・サンストリート ⑥包括・特定事業所	④随時 ⑤随時 ⑥随時	ケアマネ交流会等あらゆる機会を通じて個別事例についての相談を実施。
			各居宅1名以上、主任介護支援専門員の推薦要件を満たしていること。	1年	⑦各居宅の意向確認 ⑧地域ケア会議への参加 ⑨勉強会等の企画・運営、参加	⑦サンストリート ⑧居宅事業所 ⑨包括・居宅事業所	⑦年1回 ⑧随時 ⑨年2回以上	各居宅における主マネの研修受講希望者の確認を行う。受講希望者には受講要件における推奨要件を満たせるよう研修会等への企画運営に協力をした。
			自立支援に資するケアマネジメントの追求及び資質の向上	1年	⑩ケアプラン点検の実施・協力 ⑪事例検討会の開催・事例提供 ⑫各研修会への参加	⑩八王子市 ⑪八介連 ⑫各ケアマネ	⑩随時 ⑪年1回 ⑫随時	・八王子市によるケアプラン点検の実施。 ・八介連の八木氏による研修を実施。 ・佐藤信人氏による研修を実施。 ※サンストリートでは⑩⑪は未実施。
			制度改正、保険者の方針や動向等に注力する。	1年	⑬実地指導への対応 ⑭制度改正への対応 ⑮行政との意見交換、実地指導制度改正に関わる情報発信	⑬居宅事業所 ⑭居宅事業所 ⑮サンストリート	⑬随時 ⑭随時 ⑮年1回以上	圏域ごとにH30年度改正について、保険者を招いて勉強会を実施。
			保険者・居宅・包括の垣根を越えて「顔の見える関係」から「腹の見える関係」が構築されていること。	1年	⑯それぞれの機関の役割・責務の相互理解 ⑰取組の共同実施	⑯八王子市・包括・居宅事業所・サンストリート	⑯年1回以上	圏域ごとに交流会・研修を2回以上実施。圏域全体でも年1回、合同研修を実施。

※1「保険給付の対象となるかどうかの区分」について、保険給付対象内サービスについては○印を付す。

※2「当該サービス提供を行う事業所」について記入する。

サンストリート年間研修・交流会(実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
寺田				①⑨⑯管理栄養士との連携が在宅ケアを充実させます			①⑨⑯高齢者の栄養ケア(経管栄養と嚥下調整食)			①⑨⑯介護生活に栄養をつなぐ・認定栄養ステーション(→※2月に開催)		
高尾		①⑨⑯H30年度介護保険改正について		①⑨⑯事例検討会(多職種の協働による個別ケースの検討)							①⑯⑰※合同研修会(基調講演・パネルディスカッション) 【参加者】 ケアマネ52名 包括：10名 行政：7名 医療：4名 サロン1名 計74名	①⑨⑯事例検討会
めじろ				①⑨⑯⑰地域包括ケアにおいての生活保護制度を考えよう				①⑨⑯事例検討(難病への不安を抱えながらも自立した生活を送りたい)				
片倉						①⑨⑯片倉茶房へいらっしやい！お話ししましょう！あんなこと、こんなこと			①⑨⑯もっとあなたを知りたいの			①⑨⑯認知症と服薬
全体ミーティング	4月12日	5月29日				9月4日		11月22日	12月20日	1月18日	2月20日	3月4日

夕やけボランチーT

恩方 長房 もとはち南 元八王子

30年度下半期の取り組み

- ①主マネ間の横のつながりの強化
- ②エリア会通信の作成
- ③地域医療連携情報の作成
- ④生活支援コーディネーターとの意見交換
- ⑤地域のケアマネ等を対象とした交流会の実施

平成30年度交流勉強会 ～地域資源についての情報交換～

日時:平成31年3月13日(水)10:00～12:00

場 所:元八王子市民センター

対 象:当エリアの介護支援専門員及び包括職員

内 容:1. 当エリア会活動報告

2. 生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカーの紹介

3. 地域支援活動の紹介

4. 地域資源についての情報交換

参加者:介護保険課 (1名)

高齢者福祉課 (第1層生活支援コーディネーター1名)

社会福祉協議会 (第2層生活支援コーディネーター2名、ういづサービス
コーディネーター1名 コミュニティソーシャルワーカー2名)

包括職員 (4名)

居宅 (介護支援専門員 16事業所 27名)

エリア会役員 (主任介護支援専門員 10名)

合計48名

平成30年度交流勉強会 ～地域資源についての情報交換～



主なアンケート結果

- ・ エリア会の活動内容と地域の主マネの紹介で今後相談しやすくなりそう。
- ・ 生活支援コーディネーター、CSWの役割の確認と顔の見える関係性が出来て良かった。
- ・ CSWの80-50問題は現実として課題だったので、事例を踏まえての説明でわかりやすかった。今後活用させてもらいたい。
- ・ 小津町の町づくり活動の報告を聞いて、ケアマネとしての地域づくりを身近に感じ、自分の老後も考えた。
- ・ 内容盛り沢山で、グループワークの時間が足りなかった。

1 年の活動を通して

振り返り

- エリア内主マネの横のつながり
- 必要な情報を発信できる体制
- 主マネの役割を意識しながら地域作りをしていく共通認識

来年度に向けて

- 住民主体団体等との交流のための仕組み作り
- 実態に即した活動

東南主マネ会

南大沢ブロック



平成30年度 活動内容

- 7月12日 第1回 顔合わせ
- 9月11日 第2回 事例検討会
「先天性聾啞の独居女性への生活支援の見直し」
- 11月15日 第3回 ケアマネジャーが求められる医療連携技術
多摩南部地域病院 増井MSW を招いて
- 1月18日 第4回 事例検討会
「転居をきっかけに医療の問題が続出した困難ケース」
- 3月14日 第5回 情報交換会を予定。

「ケアマネジャーが求められる
医療連携技術」の時の様子



事例検討会の様子



活動内容の特徴

- ① 2ヶ月に1回、日中の1時間半 高齢者あんしん相談センター南大沢のエリアに住所地がある、居宅のCM対象にした勉強会等の開催。
(名称は南大沢ブロック地域ケアマネ会)
- ② 開催場所は、居宅併設の施設の利用ではなく、地域の社会福祉法人の施設を使用。
(救護施設「光華」の ふれあいホール)
- ③ 地域ケアマネ会の主催者は、当番制。主任CM6名と協力員4名が担当。
主催者が開催日、開催場所との調整、開催内容、役割分担を決定。

活動を通してよかったこと

1. 居宅のCM同士の横のつながりが少しずつできたこと。
2. 名簿作成により
 - *新しいCMが事業所に入職した際に、地域ケアマネ会メンバーに紹介できたこと。
 - *新しい居宅ができた際に、事業所を訪問し、名簿の作成依頼をすると同時に主任介護支援専門員連絡協議会等の趣旨説明ができたこと。
3. 何もないところからのスタートだったため、南大沢ブロックの個性が出てきたこと。
4. 主催者が地域ケアマネ会の内容を自由に決められたため、それぞれの会に個性が出て、良かった点を学ぶことができたこと。
5. 事例提出の書式を簡略化したために、事例提出者の負担が少なく、事例検討会が堅苦しいものでなかったことと、少人数のグループワークをすることで、活発な発言の機会を持つことができたこと。

課題

1. 今後地域ケアマネ会が先細りしないように、横のつながりのさらなる強化が必要。具体的には
 - ・今年度の最初に行ったように、それぞれの居宅に出向いて行って、意見交換を行っていく。
 - ・親睦会の開催。
2. 南大沢ブロックのさらなる個性の発揮。
3. CM同士の情報交換のための連携ツールの検討。

次年度に向けて

1. 南大沢ブロック長を1年任期で交代。
2. 南大沢地域ケアマネ会の活動に関しては、今年度と同様に進めていく予定。
3. 地域のCM同士の連携ツールの検討。

長沼ブロック

『長沼ブロック主任ケアマネ会』 活動内容

①長沼エリアの主任CMの連携

毎月1回、長沼主任CM会議（主マネ6名参加）を開催
（10月より協力員4名も参加）

②長沼エリアのCM対象の研修会の企画運営

長沼エリア主任CM会議にて、長沼エリアCM研修の年度計画を作成し、企画から運営まで協同で行う

今年度は年4回（5月・9月・12月・3月）研修会を開催

③長沼エリアのCMの連携体制の構築

長沼エリアの居宅支援事業所及び予防支援事業所に所属しているCMの名簿を作成し、各事業所に配布

取り組みから見えてきたもの

- ・ 小さいエリアに絞った活動を行うことで、その地域に特化した課題を共有できた
- ・ CM同士が顔の見える関係になり、他事業所同士のCMの交流が活発になった
- ・ 東南主マネ会としてそれぞれのブロック間の交流や連携が今後の課題

東南主マネ会

堀之内エリア

～地域ケアマネ勉強会～

平成30年度活動報告

- 毎月第1木曜日ファミリーイン堀之内にて13時30分～15時までに開催。
- 堀之内エリアでは既存の地域勉強会を活用。
- 現在の主任ケアマネ、これから取得したい人で協力員として募り事例検討会を主に開催。
- 事例の進め方を作成、事例提供者を毎月事前に決め、ファシリテーター、司会、書記、発表者の役割分担をし参加者全員が協力しあい各自気付きを得られる、批判しない等ルールを決め、参加してよかったなと思うような会になるよう心がけた。

平成30年度活動内容

- H30.4.18 『ターミナルケアに必要な医療知識』 / 今後の活動について
- H30.5.18 『主任ケアマネの集まりについて報告、今後のケアマネ勉強会について』
- H30.6.11 『今後の地域ケアマネ勉強会について』
- H30.7.5 事例検討 『物盗られ妄想がありサービス介入が難しい』
- H30.8.2 事例検討 『認知介護のため危険認識低下のケース』
- H30.10.4 事例検討 『他問題家族による自宅での生活について』



平成30年度活動報告

- H30.11.13 事例検討 『サービスが入ることによって本人と主介護者の関係性が悪くなるケースについて』
- H30.12.6 研修 『地域の社会資源を知る』 社会生活支援コーディネーター2層、ふらっと松が谷職員を講師に迎えて
- H31.2.7 事例検討 『妻をなくした独居男性 区分変更申請中のケアプランについて～キーパソンが甥の嫁～』
- H31.3.7 今年度の振り返り 次年度についての話し合い



今年度の振り返りと次年度に向けて

《今年度の振り返り》

- 事務局として、役割分担が出来、協力、気楽に参加して気付きが得られ参加して良かったと思える会になるよう雰囲気作りと誰でも参加できるよう目指して行ってきた。参加者の力強い協力があり無事に開催することが出来たのではないかな。

《次年度に向けて》

- ブロック長を1年単位で持ち回りに。
- 今年度と同様に、ブロック長と協力員で企画、運営をしていく。

今後の課題

- 事例の進め方 開催頻度の見直し、検討方法等、事例検討の積み重ねを行うことで個別課題から地域課題に発展できるよう分析力を高めるようにしていきたい。
- 事例の持ち回りを決めたことでスムーズに開催することができたが、タイムリーの困難事例、相談したいケース等を組み込み、聞き取りの場をもてるようにしたい。
- 一人及び二人（小規模事業所）ケアマネがもっと参加できるような関係性及び内容を築きあげていきたい。

チームKOA

～思い出のアルバム～



子安(K)・大横(O)・旭町(A)
17名の主任ケアマネ

4月

- ・ 隔月の月曜日：午後12時10分～13時30分



- ・ 第1回：4月16日
(月)15名



5月

- お弁当は「イル・ヴェント」さんに毎回注文
- 普通盛り:490円 ・小盛り:450円

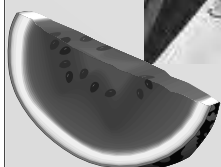
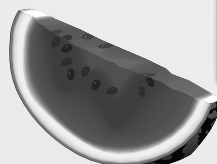


第2回:5月14日
(月)15名



第3回:7月9日
(月):11名

7月





9月



第4回:
9月11日(月)10名

＜支えあい推進課(大和田拠点)
よりCSWさんを招いて＞

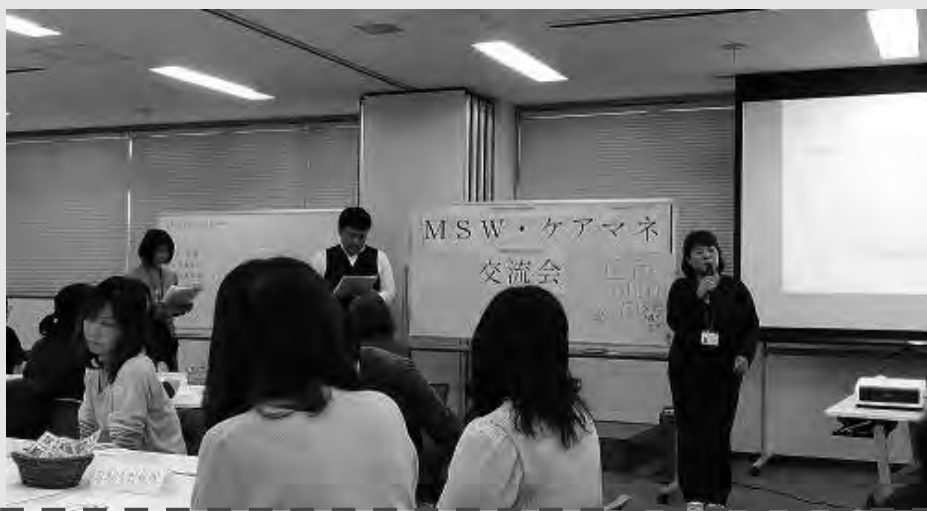
11月29日(木)14時～16時半
「MSW・ケアマネジャー交流会」35名参加



11月

於:
大横保健福祉
センター

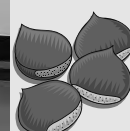
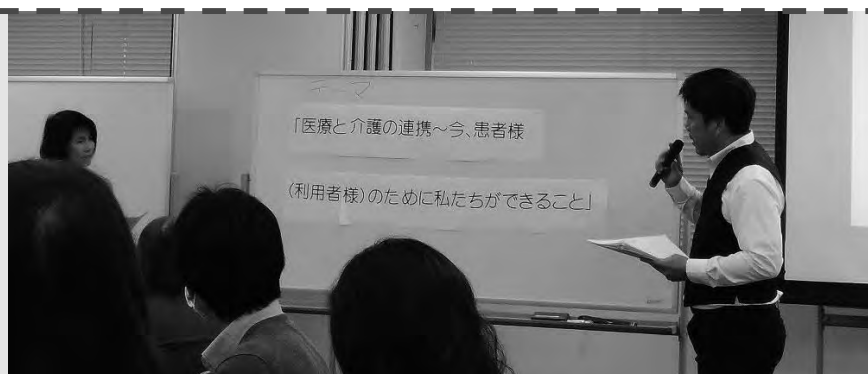




11月

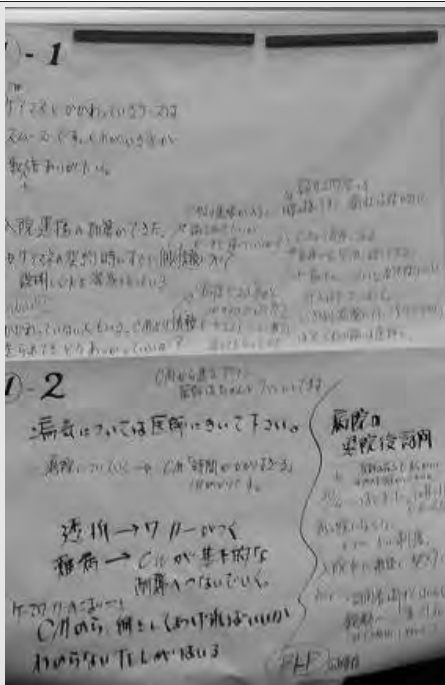


テーマ:「医療と介護の連携～今、患者様(利用者様)のために私たちができること」



11月





・第5回: 11月12日(月)
13名

11月



ワールド♥
カフェ形式
で

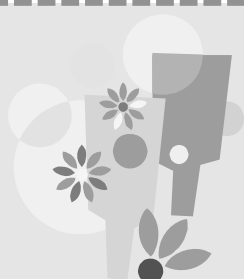
11月



・今年度振り返り



- ①CSW(コミュニティー・ソーシャルワーカー)との懇談(9/11実施)を継続的に行っていく。
- ②MSWとCMとの交流会等、医療との連携をさらに深めていく。
- ③地域貢献とケアマネ支援に資する活動について、概ね実施できた。



・第6回:1月21日(月)
・10名



・第7回:3月11日(月)
・10名

・次年度の方向性

今年度と同様、

- ①二月に1度程度の頻度で
- ②エリア会議、または包括との共催で
- ③さらなる地域貢献と
- ④ケアマネ支援に資する活動を企画・実施していく。



ご清聴ありがとうございました！
チームKOA一同